

製品名: HLA B7 (14R14) ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe12077

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IF-P
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:500,IF-P 1:200-1:500
分子量	40kDa

抗原情報

遺伝子名	HLA-B
別名	HLA B; HLAB;
遺伝子 ID	3106.0
SwissProt ID	P01889
免疫原	ヒト HLA B7 の合成ペプチド

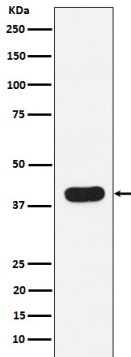
背景

HLA BはHLAクラスI重鎖パラログに属します。このクラスI分子は、重鎖と軽鎖 ($\beta 2$ ミクログロブリン) からなるヘテロ二量体です。重鎖は膜に固定されています。抗原提示主要組織適合複合体クラス I (MHCI) 分子。B2M/ $\beta 2$ ミクログロブリンとの複合体は、主にウイルスおよび腫瘍由来ペプチドを抗原提示細胞上に提示し、HLA-B 拘束性 CD8 陽性 T 細胞上の α - β T 細胞受容体 (TCR) によって認識されます。これにより、抗原特異的 T 細胞免疫応答が誘導され、感染細胞または変異細胞が排除されます (PubMed:25808313、PubMed:29531227、PubMed:9620674、PubMed:23209413)。分泌タンパク質または膜タンパク質のシグナル配列に由来する自己ペプチドを提示することもあるが、これらのペプチドに特異的な T 細胞は通常、自己反応性を防ぐために不活性化される (PubMed:7743181、PubMed:18991276)。ペプチドと MHC 分子の両方が TCR によって認識され、ペプチドは抗原認識の微細な特異性を担い、MHC 残基は T 細胞の MHC 拘束性を担う (PubMed:29531227、PubMed:9620674、PubMed:24600035)。典型的には、恒常性プロテアソームおよび IFNG 誘導性免疫プロテアソームを介した細胞質タンパク質分解によって生じる、8~13 アミノ酸からなる細胞内ペプチド抗原を提示する (PubMed:23209413)。主に位置 2 および 9 のアンカー残基によって定義される対立遺伝子特異的結合モチーフを含むさまざまなペプチドに結合できます (PubMed:25808313、PubMed:29531227)。

研究分野

-

画像データ



Ramos 細胞溶解物中の HLA B7 発現のウェスタン プロット分析。